

県外在住オーナーも多数来場

賃貸住宅ミニフェア 2012 in 鹿児島

全国賃貸住宅新聞社は9月4日(火)、鹿児島市内の鹿児島アリーナで「賃貸住宅フェアin鹿児島」を開催した。出展ブースは35社66ブース。セミナーは12講座。初開催となった会場には、県内外から953名が来場した。

▶初開催の会場ながら、ブースの飾り付けはどの企業も華やかだった



▶さまざまな埋まったセミナー会場

「火山灰対策」求めブース

オーナーも物件の 巡回行っべきと実感

70戸を所有する鹿児島市在住の児玉万里子オー

ナーは所有物件の改装を検討しており、そのヒントを探るために来場した。喜努愛桑大家の会の久保力也代表のセミナーを聴講し、気付かされた点があったという。

「台風の後など物件に影響がありそうな場合には、オーナーも自分の物件を見に行かなければならないのだという話を聞き、納得しました」と児玉オーナー。管理会社に

「台風の後など物件に影響がありそうな場合には、オーナーも自分の物件を見に行かなければならないのだという話を聞き、納得しました」と児玉オーナー。管理会社に

人気設備 地域で盛

鹿児島市で60戸の脇野猛オーナーの下落が進む状況に数年先を見ながら、する必要があり、集を目的に来た。既存の物件にインターネットの無料利用している。入居であれば空室対策が、ファミリー層に効果が薄いとどこかのネットに加入しているようです。ネットがない人にとっては「すし」と脇野オーナー入居者層によって異なるため、無望の分析が必要とされている。家族連れ追いだき機能や音きのの方が反応がた。太陽光パネルを見学したが、一考が必要との「鹿児島は火山が置してどれだけおるのかよくわかっています」(吹)

▼熱心に耳を傾ける来場者の姿



▶人気キャラクター「ユミーマン」参上



▶商品を手に取り、比較検討する人々

